

写真家 山田真優美 × 歌人 近江瞬

二人展

「ただ、いま」



思い出そうと手を伸ばしてもきっといつか届かなくなる景色のなかで／近江瞬

香川県出身で震災後に移住した写真家山田真優美と、石巻市出身の歌人近江瞬が、震災前も震災後も変わることのない大切な日常をテーマに、過去となった今、今という今、未来に待つ今、の大切さを短歌と写真で伝える。震災で浮き彫りになった当たり前で当たり前ではない日常がそこにある。

2021年

2月13日(土)

～3月14日(日)

のあいだの土・日・月曜日

※3月11日(木)は特別開館します

【連携企画】オープニングトーク & ワークショップ

第11回 いしのまき本の教室

「日常の表現を探る
写真と短歌で一冊の本を作る」

2月13日(土) 18時～20時

参加費：1500円 定員：15名

石巻 まちの本棚

石巻市中央2丁目3-16 たん書房ビル1階

営業時間：11:00～18:00 / 開館日：土・日・月曜日

【連携企画】

第11回 いしのまき本の教室

「日常の表現を探る

写真と短歌で一冊の本を作る」

2月13日 (土) 18時～20時 (開場 17時半)

山田真優美と近江瞬が日常と震災の表現について語る。トーク後には、写真と短歌で一冊の本を作るワークショップを開催。事前に参加者が自身のお気に入りの1枚を提出し、当日はそれにまつわる短歌を近江のアドバイスのもとで作ってみる。ワークショップで提出した写真と短歌は後日、1冊の本として会場に展示する。

参加費：1500円

*参加費は製本代も含みます。

*製本された本は後日引き渡しとなります

定員：15名

場所：石巻まちの本棚

持ち物：

お気に入りの写真を1枚、事前にメールでデータでお送りいただくか、当日持参ください。

<お申し込み方法>

- ①件名「2/13 本の教室」②お名前 ③ご住所
 - ④連絡先 (電話・メールアドレス) ⑤お気に入りの写真
- を下記メールアドレスまで送付ください。
メールアドレス bookishinomaki@gmail.com

写真家 山田真優美 × 歌人 近江瞬

二人展「ただ、いま」

会期：2021年2月13日(土)～3月14日(日)
の間の土、日、月

※3月11日(木)は特別開館します

会場：石巻まちの本棚

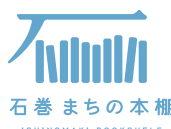
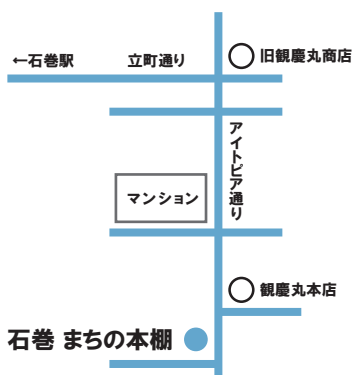
入場料：無料

写真家 山田真優美 (やまだ・まゆみ)

1980年香川県生まれ。高校生の頃、ドラマに出てきた暗室のシーンを見たことをきっかけに写真部に入部。東京都内のスタジオ勤務を経てフリーフォトグラファーとして活動。2018年、石巻に移住。2020年4月には石巻のキワマリ荘で初の個展「ここから」を開催。何気ない日常の風景やひとコマを切り撮っている。

歌人 近江瞬 (おおみ・しゅん)

1989年石巻市生まれ。「塔短歌会」、「短歌部カプカプ」所属。2020年5月、第一歌集『飛び散れ、水たち』(左右社)刊行。第10回塔短歌会賞受賞。第9回塔新人賞受賞。第31回歌壇賞最終候補。第1回笹井宏之賞最終候補作。(株)口笛書店で編集者・ライターとして勤務。短歌部カプカプのたんたか短歌をラジオ石巻で放送中。



石巻まちの本棚

986-0822 宮城県石巻市中央2丁目3-16 たん書房ビル1階

TEL 0225-90-4982 (ISHINOMAKI2.0)

E-mail bookishinomaki@gmail.com